

第1回鹿児島駅周辺土地利用検討委員会に基づく土地利用の考え方と導入機能（案）

平成23年11月

鹿児島市

1. 第1回委員会等に基づく土地利用の考え方と導入機能(案)

第1回鹿児島駅周辺土地利用検討委員会に基づく土地利用の考え方

土地利用の
理念

まちの風情 / 新しいものと緑・静けさ・歴史・景観の融合

- 人が来ると地域が騒がしくなる。どの方向を目指すのか理念が必要である。経済活動盛んな賑やかさを求めるか、それとも今のような落ち着いたまちを目指すか。
- 都市としての風情をどう作るか。新旧関係なくそれなりの風情を作ることではある。新しいものと緑や静けさ、歴史、景観を融合させることが重要である。
- 鹿児島駅周辺で鹿児島を感じてもらおう。人のおいしがし、自然や歴史のあるまち。
- 地元住民は必ずしも開発や人口増を望んでいる訳ではない。
- あれもこれも入れ込むことはできないだろう。優先順位が必要である。

土地利用の
方針

鹿児島中央駅との差別化 / 旧本駅

- もともとは鹿児島駅が本駅だった。中央駅との役割分担と言う事だと思う。
- 中央駅と鹿児島駅の差別化を如何に図るかだと思う。
- 中央駅とまったく逆のまちづくりを目指すと思う。
- 鹿児島駅が変われば県外からの集客も期待できるのではないかと思う。

ローカルリティを活かす / 地域資源の活用、地域文化・コミュニティ

- 仙巖園も近い。近代化遺産は桜島フェリーからも見える。社寺仏閣もあり、ストーリー・素材は沢山ある。
- 地域文化やコミュニティの視点は重要である。

地域の活性化 / 人の動き

- 昼間・夜間人口とも減少。人の流れがない。
- 地区として寂れてきた印象を持っている。
- 様変わりした中央駅は人も集まる出発点。一方、鹿児島駅は寂れた感がある。
- 人が住んでいることが重要だと思う。

導入機能

緑 / 花と緑の回廊、まちに溶け込む緑、森の中の駅・まち、緑に囲まれた空間

- 花と緑の回廊は良い。市電の芝生は路面電車サミットでも褒められた。
- 30年ほど前に植樹された樹木が大木に育ち、まちに緑が溶け込んでいる。
- 森の中に駅やまちがあるイメージを持つ。
- 上町は心のふるさとだが「緑」が足りないと感じている。
- 大きな建物を作る訳ではないだろう。様々な利用に対応できる緑に囲まれた空間のイメージ。
- 「緑」が共有されるキーワードのひとつ。イベントが開催可能な公園・広場。
- 軌道敷緑化とも調和する「都市の杜構想」の具体的展開。

市(いち) / 歴史を踏まえた「市」の展開、市民参加で仮設の市

- 上町地区は市の発祥地であり、商店街活動発祥の地でもある。これらをアピールするには、「市」がキーワードになると思う。屋台村もおもしろい発想だと思う。
- 八戸の臨海部ではフリーマーケットに近い朝市が人気。生鮮・青果品だけでなくアクセサリなど取扱品の幅が極めて広い。喫茶店もある。鹿児島でも需要があるのではないか。

交通結節 / パーク&ライド、観光バス駐車場

- 路面電車の使い方として、市電とJR駅の結節のさせ方も重要である。
- 鹿児島駅周辺は始良側からの交通結節点となっている。市電なども取り入れながらパーク&ライドのお手本として全国初の取組に可能性があると思う。
- インフラ整備を合わせて実現することが重要である。
- 市電・駅至近の交通結節機能が高い立地を踏まえたパーク&ライド駐車場
- 磯地区が世界遺産登録されれば現地に観光バス駐車場が設置困難となる。その代替駐車場を確保。

空間の使い方

フレキシビリティ / イベント対応、ハレ(非日常)とケ(日常)、場面転換

- 祭りなど地域イベントで臨時的に利用できる空間が欲しい。
- 恒常性(日常的集客)と臨時性(何かあったときに利用できる)の両面を求めたい。

キーワード

(第1回委員会での主な意見より)

上位計画の視点

- ◆鹿児島市の都市像
人・まち・みどり みんなで創る
“豊かさ”実感都市・かごしま
- ◆上町(鹿児島駅周辺)地区のまちづくりの方向性
(第1回土地利用検討委員会資料)
地域資源を生かし、交流・にぎわいや花と緑にあふれる、北の玄関口にふさわしい新たな都市拠点の形成
- ◆リーディングプロジェクト
“ディスカバーかごしま”文化創造プロジェクト
“食の都かごしま”チャレンジプロジェクト
“花と緑の回廊”環境創出プロジェクト

地域住民の意見

- ◆これまでの地域住民からの土地利用に関する意見分類
(第1回土地利用検討委員会資料)
- 【分類】
- 観光
- 医療、福祉
- 運動、スポーツ
- 公園、緑地
- 居住、暮らし支援
- 地域コミュニティ
- 交通 等

土地利用の目指すべき方向

- 花と緑の印象的な空間と時間経過に伴う風格の向上
- 交通の結節点として方々からの人の来訪
- 豊かな地域資源の活用とまちの記憶の継承
- 人情味や暮らしの中心となる活気のある空間
- 「ハレ」と「ケ」のフレキシブルな場面転換

3つの導入機能



2. 土地利用ゾーニング(案)

緑のオープンスペースゾーン

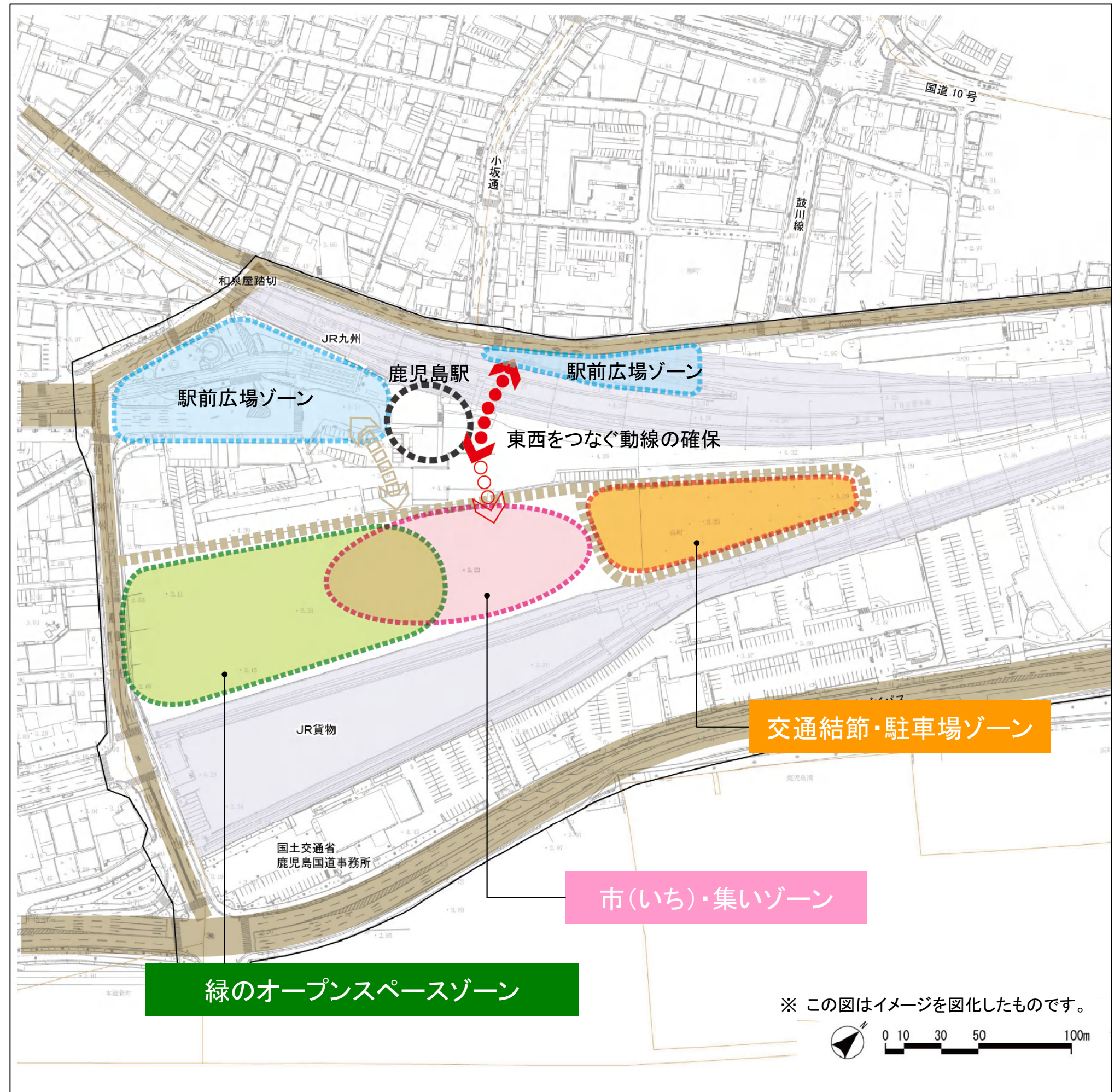
- ・ 平時・イベント時共にまちに開いたオープンスペースとするため、前面道路に面した南側に設ける。
- ・ 市(いち)・集いゾーンと一体的な利用が可能になるように隣接させ、一部オーバーラップさせることで、緑の中でにぎわいを感じられる空間をつくる。
- ・ 規模はイベント利用等を考慮し、1.0ha程度を想定する。

市(いち)・集いゾーン

- ・ 駅舎からのアクセスを考慮し、駅に近い位置に配置する。東西自由通路が整備される際は、当該ゾーンまで伸ばし、直接アクセスすることを検討する。
- ・ 緑のオープンスペースゾーンと隣接させ、一体的な利用を行う。
- ・ 施設に必要な駐車場を交通結節・駐車場ゾーン内に設ける等の連携を行うため、交通結節・駐車場ゾーンと隣接させる。
- ・ 観光駐車場台数や施設規模を考慮し、交通結節・駐車場ゾーンと合わせて1.5ha程度を想定する。

交通結節・駐車場ゾーン

- ・ 交通モードの切り替えを促進する機能を配置するため、駅舎に極力近い位置に配置する。
- ・ 核施設、広場の必要駐車台数を確保するため、市(いち)・集いゾーンと隣接させる。



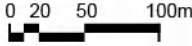
※ この図はイメージを図化したものです。



3. 導入機能の展開イメージ

(1) 緑のオープンスペース

着眼点1	機能・アクティビティ、空間イメージ
施設構成の考え方(案)	<p>■ 地域住民や観光客が、本市発祥地である歴史性と桜島への眺望など恵まれた環境のなかで、憩い・安らぎ、にぎわい・ふれあうことのできる鹿児島随一の都市の杜</p> <p>○ 地域の祭りや郷土芸能を披露する舞台</p> <p>○ フリーマーケットやトラック市をはじめとするイベント利用</p> <p>○ 花と緑の彩りや、心地よく憩い・安らぐことのできる緑の絨毯</p> <p>○ 散歩やジョギングなどを通じた健康増進 など</p>
アクティビティ・空間のイメージ	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>① 郷土芸能（名山太鼓）の上演</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>② 地域の祭り（おはら祭り）の展開</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>③ フリーマーケットの展開（さいたまけやき広場）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>④ 集客力の高いトラック市の開催（川南トラック市）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>⑤ 芝生広場での市民の憩い（大阪うつぼ公園）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>⑥ 芝生広場を照らすライトアップの演出</p> </div> </div> <p>写真出典： ① 地域イベントより ② 鹿児島市ホームページ ③ http://fleamarket.or.jp/skeyaki%20014.jpg ④ http://kitora1.com/blog/ ⑤ http://jake0308.cocolog-nifty.com/blog/2011/05/index.html ⑥ http://holoholo.air-nifty.com/nara/cat703663/index.html</p>

着眼点2	規模構成
想定する空間規模(案)	<p>■ 概ね1ha</p> <p>○ 地域の祭りやイベントの開催、市民が憩い・安らぐことのできる空間の規模として概ね1haを想定 (目安)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市内の事例との比較：中央公園より小さく、共研公園と概ね同規模。また、鹿児島環境未来館の敷地面積と同等 他事例との比較：日向市駅前交流広場と西口駅前広場をあわせた規模より若干大
規模目安となるセიმスケール	 <p>浜町1-5</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中央公園 (約1.5ha)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>共研公園 (約1.0ha)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>鹿児島環境未来館 (敷地面積: 約1.0ha)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>日向市駅前交流広場 (交流広場: 約3,400㎡)</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

着眼点1	機能・アクティビティ、空間イメージ
<p>付与する機能の考え方(案)</p>	<p>■磯方面へのシャトルバス発着所、観光バス駐車場の立地に合わせ、駅前かつ桜島を見渡せるという好立地を活かした観光拠点をつくり、観光客・地域住民がゆったりと時間を過ごせる場所とする。</p> <p>○鹿児島、上町の歴史や文化を体験・体感できる機能</p> <p>○地元特産品や地元の味を楽しめる物産・飲食施設 等</p> <p>■地域住民が日常的に集い、コミュニティを育む場所をつくることで、観光客がいない時でもにぎわいを感じられるようにする。</p> <p>○子育て・介護・医療等、生活支援を行う機能</p> <p>○地域住民のための屋内イベントを行えるスペース 等</p>
<p>アクティビティ・空間のイメージ</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>①門前町の街並みを再現した観光施設 (伊勢・おかげ横丁)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>②名所である城の隣に立地する観光施設 (熊本・城彩苑)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>③地域名産品が集まる物産・飲食施設 (富良野・フラノマルシェ)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>④旧住宅を改修した観光・交流施設 (土蔵を地域住民利用の多目的ホール等に改装) (倉敷物語館)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>⑤「こども」をテーマとした地域交流施設 (豊橋こども未来館 ここここ)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>⑥医療・福祉系機能のイメージ (適合高齢者専用賃貸住宅)</p> </div> </div> <p>写真出典： ①http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:Ise_city.JPG ②事務局撮影 ③http://shinken.blog.so-net.ne.jp/upload/detail/1007114.jpg.html ④http://k-brand.city.kurashiki.okayama.jp/kankou/kurashiki/?itemid=141 ⑤http://inplay.sachicon.com/aichi.html ⑥http://www.osumai-soudan.jp/kanto/bukken/bukken33.html</p>

着眼点2	規模構成
<p>想定する空間規模(案)</p>	<p>■概ね1.5ha (交通結節・駐車場ゾーンを含む)</p> <p>○観光バス駐車場、駅のパークアンドライド駐車場、施設の駐車場等を含め、にぎわいを生み出せる施設の規模として、駐車場ゾーンと合わせ1.5ha程度を想定。</p> <p>(目安)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尚古集成館が駐車場も含めて約1.0haでこれより大きいものを想定 ・ 熊本・城彩苑が駐車場も含めて約1.5haで同程度
<p>規模目安となるセიმスケール</p>	<div style="text-align: center;">  <p>浜町1-5</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>尚古集成館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>津軽藩ねぷた村</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フラノ・マルシェ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>倉敷物語館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>城彩苑</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>※ 航空写真は google earth pro から取得</p> <p>※ 地図は google map から取得</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

着眼点1	機能・アクティビティ、装置・空間イメージ
付与する機能の考え方(案)	<p>■ 駐車機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大型バス駐車場： 観光バス駐車場、市内観光バス駐車場の拠点機能 など ○ 普通自動車駐車場： 北側方面を対象としたパーク&ライド機能、広場・核施設に必要な駐車場機能 など <p>■ 付帯利便機能： 利便性向上機能、交通モードの転換促進機能 など</p> <ul style="list-style-type: none"> → シャトルバス乗降場 ・ レンタサイクル基地（市内自転車利用の促進） ・ EV充電基地（電気自動車に対する利用促進策） ・ 事務所、トイレ、休憩・待合施設 など
装置・空間のイメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① レンタサイクル基地（バルセロナ） ② 電気自動車充電基地（サンフランシスコ）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>③ 緑化駐車場（国内） ④ 太陽光発電によるLED照明（国内）</p> <p>写真出典： ① http://notes.morita-arch.com/?eid=708994 ② http://www.j-tokkyo.com/2009/0/page/52 ③ http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6599/p19728.html ④ http://www.led.or.jp/case/data/content/ext_005.htm</p>

着眼点2	規模構成
想定する空間規模(案)	<p>■ 概ね1.5ha（市・集いゾーンを含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大型バス： 観光バス駐車場、その他拠点機能分 ○ 普通自動車： パーク&ライドと周辺機能用駐車場
規模目安となるセიმスケール	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>浜町 1-5</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;">   </div> <p>仙巖園バス駐車場 (赤枠部分で大型バス約 25 台 : 約 2,000 m²)</p> <p>桜島フェリーターミナル (県営駐車場) (赤枠部分で普通自動車約 100 台 : 約 3,500 m²)</p> <p style="text-align: right;">※ 航空写真は google earth pro から取得</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> </div>